

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号			正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	(a)	心と体			各 3 × 7	4 3
		(b)	豊かなスポーツライフ				
		(c)	技能				
		(d)	自他				
		(e)	思考				
		(f)	判断				
		(g)	態度				
	2	(a)	体を動かす			各 3 × 6	
		(b)	記録の向上				
		(c)	競争				
		(d)	勝敗				
		(e)	感じを込めて				
		(f)	みんなで自由に				
	3	行うこと、見ること、支えること及び知ること			4		
2	1	心身相関			各 3 × 5	1 5	
	2	自律神経					
	3	(1)	背筋を伸ばし、リラックスしながら両手を重ねておなかの前に当てる。鼻からゆっくり息を吸い、口からゆっくり長く息を吐き出す。息を吸うときにはおなか膨らみ、息を吐くときにはおなかへこむように意識する。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。			
		(2)	体の各部分に思い切り力を入れて、10秒ほど緊張させる。「ストン」と力を抜き、15～20秒ほど脱力する。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。			
	4	心的外傷後ストレス障害		PTSD もよい。			

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点		
3	1	(イ)		順序は問わない。	各 2 × 3	29	
		(エ)					
		(オ)					
	2	カ			5		
	3	(1)	(A)	ボッチャ			各 3 × 2
			(B)	ゴールボール			
		(2)	(a)	アイマスクの着用	内容を正しく捉えていれば、 表現は異なってもよい。		各 3 × 4
			(b)	互いに組んだ			
			(c)	3			
			(d)	ツーバウンド			
4	1	(1)	イ		各 5 × 3	30	
		(2)	ストライド				
		(3)	C				
	2	図1	走者間の距離（利得距離）を長くとることができる。	内容を正しく捉えていれば、 表現は異なってもよい。	各 5 × 3		
		図2	次走者がランニングに近いフォームで受け取るためスピードを上げやすい。				
		図3	バトンを次走者に確実に渡すことができる。				
	5	1	図1	前方屈腕倒立回転跳び			各 3 × 3
図2			屈身跳び				
図3			開脚伸身跳び				
(1)		・跳び箱上にマットをかぶせる。 ・跳び箱の下（横）にマットを敷く。 ・マット上に、50 cm 程度の幅となるよう2本のラインを引いて目印とし、スムーズに前転を行うようにさせる。 ・積み上げたマット上に、助走から両足踏み切りで、スムーズに前転を行うようにさせる。 ・2台跳び箱を連結し、手前の跳び箱から前転を行い、マット上に着地させる。		4つ書かれていればよい。 問いを正しく捉えていれば、 内容は異なってもよい。	各 3 × 4		
		(2)	・腕立て伏臥姿勢でジャンプする（両手両足を同時に地面から離し、同時に着地する）練習をさせる。 ・腕立て伏臥姿勢でジャンプして、前に移動する練習をさせる。 ・腕立て伏臥姿勢でジャンプして、上体を起こし足だけで着地する練習をさせる。 ・ウサギ跳び（両手、両足を交互に着きながら前進する）を練習させる。 ・馬跳びを練習させる。 ・タイヤ跳びを練習させる。			4つ書かれていればよい。 問いを正しく捉えていれば、 内容は異なってもよい。	各 3 × 4

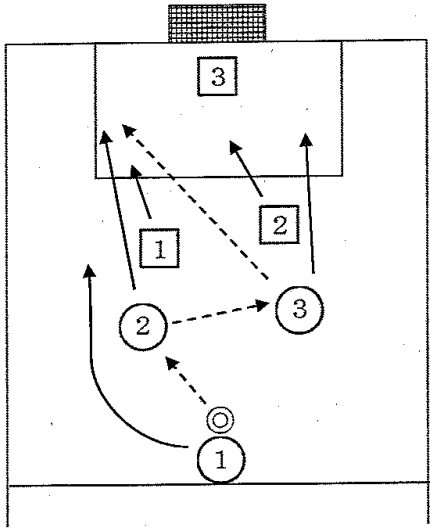
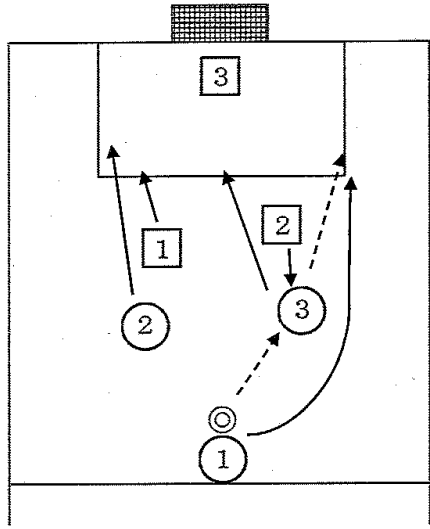
中学校保健体育科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 【例】						採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1	(1)	満塁の場面において、打者が打って走者となったとき、3塁走者が本塁に着く前に捕手がボールを持ち本塁に触れる。						問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	5
		(2)	(a)	ベースカバー						各 3 × 3
			(b)	バックアップ						
			(c)	タッチアップ						
	2	(1)	・ボールがトスされたか手から放たれた後、片方の手又は腕のいずれかの部分でヒットしなければならない。 ・トスを上げるかボールを放つ動作は1回だけ許される。ボールをフロアでドリブルしても両手の中で動かしてもよい。 ・サービスヒット又はジャンプサービスの踏み切りの瞬間、サーバーは（エンドラインを含む。）コートやサービスゾーン外のフロアに触れてはならない。 ・サーバーはヒットの後、サービスゾーン外やコート内に踏み込んで着地してもよい。 ・サーバーは、ファーストレフェリーがサービスのホイッスルをした後、8秒以内にボールをヒットしなくてはならない。 ・ファーストレフェリーのホイッスル前に行われたサービスは無効となりやり直される。						3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	各 4 × 3
		(2)	(イ)	(エ)	(オ)	(ク)	(ケ)	順序は問わない。	各 2 × 5	

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
6	3	(1) (コート図)  (説明) ①からパスを受けた②は、③へのパスと同時にゴール前の空いているスペースに走り込み、③からのパスを受ける。②からのパスを受けるため、③はゴール前の空いている場所に動く。①は②からパスを受けることができるよう、②の後方の空いている場所へ動く。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	7	
		(2) (コート図)  (説明) ①は③にパスをした後、ボールの後方から③の背後を通過し、ゴール前の空いているスペースに動く。③はゴール前に動いた①にパスをし、次のパスを受けるためにすぐにゴール前の空いているスペースに動く。同様に②も①からのパスを受けるためにゴール前の空いている場所に動く。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	7	